

**総会・初等中等教育分科会・大学分科会における主な意見****<基本方針①夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力の育成関係>**

- 幼児教育について、投資効果が大きいことが明らかになっており、今後も拡充していくことが必要。
- 英語教育について、4技能を育成していくことが必要。また、海外の日本人学校の英語教育についても内容を充実していくことが必要。
- 自己肯定感が海外の状況と比べて低くなっている状況について、分析していくことが必要。
- 技術革新の進展が与える正と負の影響について、どのように捉えていくか、議論を深めていくことが必要。
- 規範意識や思いやりの心などの豊かな心の育成や、体験活動の推進についてしっかりと現場で実行していくことが重要。
- モバイル機器などの ICT の利活用について、弊害部分への対策も考えていくべき。

**<基本方針②社会の持続的な発展を牽引するための多様な力の育成関係>**

- イノベーション輩出型大学の構築など、大学モデルの革新に正面から取り組むべき。
- スポーツ・文化・芸術分野で世界で活躍する人材を育てていくことが必要。

**<基本方針③生涯学び、活躍できる環境の整備関係>**

- 人生 100 年を見据えた、新しいステージの人生を生きる力について議論を深めていくことが重要。

**<基本方針④誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットの構築関係>**

- 大学教育まで含めた無償化のように国民的な議論が起こるようなことを計画に書き込むべき。
- 社会的、経済的事情に起因する学力困難校への対応について基礎定数化されなかったが、教育は公が責任を持って担っていくものであるということについて理解を図っていくことが重要。

### **<基本方針⑤教育政策推進のための基盤の整備関係>**

- 今後、一層少子化の進展が予想される中における、学校指導体制や大学の在り方などについて、グランドデザインを考えていくことが必要。
- 教師のためにも、多様化する子供たちの学びのためにも、学校教育の在り方について改善、改革を進めていくべき。
- 学校指導体制の質・量両面からの充実、学校現場における業務の適正化を実現していくことが必要。
- 教育政策推進のための基盤整備について、例えば ICT の利活用に向けた整備が設置者側の予算不足によりできないということにならないよう、具体的な対策を考えていくことが重要。
- 日本型教育の海外展開について、もっと多くの国に積極的に発信していくべき。

### **<国民・社会の理解が得られる教育投資の充実・教育財源の確保関係>**

- PDCA サイクルの確立について目的を明確にしておくべき。
- 教育投資の充実に向けて、データを整備し、複数のシナリオを提示することで、国民・社会の理解を得ていくことが重要。